

飛鳥池遺跡発掘調査報告

本文編〔I〕—生産工房関係遺物—

目 次

第I章 序 言

1 調査の経緯	1
2 調査組織	3
3 報告書の作成	4

第II章 調 査

1 調査地域	8
A 遺跡の位置	8
B 周辺の遺跡	10
C 測量と地区割り	14
2 調査の概要	17
A 飛鳥池遺跡	17
i 飛鳥寺1991-1次調査	
ii 飛鳥藤原第84次調査	
iii 飛鳥藤原第87次調査	
iv 飛鳥藤原第93次調査	
v 飛鳥藤原第97次調査	
vi 飛鳥藤原第98次・第99-6次調査	
B 飛鳥池東方遺跡	23
i 飛鳥藤原第86次・第92次調査	
C 飛鳥池遺跡範囲確認調査	23
i 飛鳥藤原第106次調査	
ii 飛鳥藤原第112次調査	
D その他の調査	24
3 調査成果の公表	25
4 調査日誌抄	26
i 飛鳥寺1991-1次調査	
ii 飛鳥藤原第84次調査	
iii 飛鳥藤原第87次調査	
iv 飛鳥藤原第93次調査	
v 飛鳥藤原第97次調査	
vi 飛鳥藤原第98次調査	
vii 飛鳥藤原第99-6次調査	
viii 飛鳥藤原第86次調査	
ix 飛鳥藤原第92次調査	
x 飛鳥藤原第106次調査	
xi 飛鳥藤原第112次調査	

第III章 遺 跡	本文編〔III〕—遺跡・遺構—に収録
-----------	--------------------

第IV章 出土遺物

1 生産工房関係遺物	52
A 生産工房関係遺物の分布と炭層の層序	52
B 金・銀	54
i 金	54
ii 銀	55
iii 金粉付着土器	57
C ガラス・宝玉類	58
i ガラス玉	58
ii 型抜きガラス	61
iii 板状ガラス	61
iv ガラスの生産用具	62
a ガラス罎壺	
b ガラス罎壺蓋	
c ガラス玉鑄型	
v 琥珀	69
vi 水晶	70
vii 瑪瑙	70
viii その他の石製玉	70
D 銅製品	72
a 有文銅製品・瓔珞・銅針	72
b 銅製人形	74
c 鐮子	74
d 銅管・海老錠	75
e 銅製帯金具	75
f 銅製刀装具	77
g 佐波理鏡・匙・箸	78
h 銅鏡	79
i 銅座金具	79
j 銅飾金具	81
k 銅兵庫鎖	81
l 銅鈴・その他の銅製品	82
m 壺金具・肘金具	83
n 銅鉾・かしめ鉾	84
o 留針・銅釘	85
p 銅線	88
q 銅製工具	89
r 銅切屑	91
s 加工銅棒	96
t 銅板	98
u 鑄造関係遺物	99
E 富本銭	101
i 富本銭	101
ii 富本銭鑄型	108
iii 富本銭の鑄棹	111
iv 富本銭土坑出土遺物	113
a 銅炭ブロックの構成遺物	
b 銅炭ブロックの性格	
F 鉄製品	116
i 農工具類	117
ii 金具類	119
iii 釘類	121
iv その他の製品	123
v 鉄素材類	124
G 罎壺・取瓶	126
i 金・銀罎壺	127
ii 銅罎壺・取瓶	128
iii 罎壺蓋	133
iv 被熱土器	134
v 石製罎壺	142
H 鑄型等	145
i 鑄型	145
ii 土道具・その他	151
I 韃羽口	152
a 銀関連の羽口	
b 鉛関連の羽口	
c 銅関連の羽口	
d 富本銭土坑出土羽口	
e 鉄鍛冶関連の羽口	
f ヘラ記号のある羽口	

J	工房関係特殊土製品	162
K	炉壁等	163
L	鋳 滓	164
M	鋳 石・鋳 物	167
N	砥 石・石製品	169
	i 砥石	169
	a 砥石の石材	
	b 砥面と形状からみた砥石の分類	
	ii その他の工房関係石製品	176
O	漆工関係遺物	178
	i 漆刷毛	178
	ii 漆 筥	180
	v 漆附着土器	184
	a パレット類	
	b 漆運搬容器	
	c 漆貯蔵容器	
	d 漆附着土器の特徴	
	e 灰緑色粘砂層・灰色シルト層出土資料	
P	様	191

2 木製品ほか 200

A	木製品	200
	i 工具	200
	ii 食事具・武器・服飾具・ 文房具・遊戯具・祭祀具	209
	iii 容器	213
	iv 雑具・用途不明品・部材	214
B	その他の有機質遺物	223

3 瓦塼類 225

A	軒丸瓦	225
	i 素弁蓮華文軒丸瓦	225
	ii 重弁蓮華文軒丸瓦	240
	iii 複弁蓮華文軒丸瓦	241
	iv そのほかの軒丸瓦	255
	v 小 結	256
B	軒平瓦	260
	i 重弧文軒平瓦	260
	ii 偏行唐草文軒平瓦	275
	iii 均整唐草文軒平瓦	276
	iv 素文軒平瓦	279
	v 近世以降の軒平瓦	279
	vi 小 結	280
C	丸 瓦	281
	i 行基丸瓦	284
	ii 玉縁丸瓦	322
D	平 瓦	329
E	垂木先瓦・鬼 瓦・鴟 尾	451
	i 垂木先瓦	451
	ii 鬼 瓦	451
	iii 鴟 尾	453
F	面戸瓦	454
	i 切面戸瓦	454
	ii 割面戸瓦	457
	iii 小 結	458
G	熨斗瓦	458
	i 切熨斗瓦	459
	ii 割熨斗瓦	462
	iii 小 結	465
H	隅切平瓦	468

I	その他の道具瓦	472
J	文字瓦・ヘラ記号瓦など	475
K	埴 仏	479
L	埴	479
M	土 管	480
4	木 簡	485
A	はじめに	485
B	南地区出土の木簡	492
i	水溜SX1220	492
iii	東の谷のその他の遺構	512
ii	水溜SX1222	502
iv	西の谷の遺構	515
C	北地区（工房水処理施設）出土の木簡	517
i	南北大溝SD1130	518
iv	SD1110もしくはSD1130	553
ii	SD1108・1109	541
v	南北溝SD1103	554
iii	南北溝SD1110	543
vi	石組方形池SG1100	554
D	北地区（その他の遺構）出土の木簡	555
i	土坑SK1153	555
iii	石組方形池周辺の土坑群	567
ii	土坑SK1126	562
iv	その他の遺構	569
E	飛鳥池東方遺跡出土の木簡	571
5	建築部材	585
A	井戸枠等転用建築部材	585
B	柱 根	598
C	加工痕跡に特徴のある柱根	603
D	小建築の部材	606
6	石 器・石製品	611
A	石 器	611
B	石製品	614
7	その他の銭貨	616
8	土 器・土製品	本文編〔Ⅱ〕—土器・土製品—に収録

第V章 自然科学による分析

1	飛鳥池遺跡出土金属製遺物の科学的調査	617
A	金属生産工房における作業工程と飛鳥池遺跡の位置づけ	617
B	飛鳥池遺跡における金属生産工房の全容解明	618
C	材質別の調査	620
i	金について	620
ii	銀について	622
iii	銅について	622
a	富本銭について	
b	富本銭の材質の特徴	
c	(銅-アンチモン)系合金の歴史的背景	
d	飛鳥藤原地域以外で確認された富本銭の材質	
e	アンチモンはいかに認識されていたか	
f	三次元レーザー計測で探る富本銭の形状特徴と鑄造技術の検証	
iv	鉄について	627
D	飛鳥池遺跡において確認された特記すべき金工技術	629
i	表面加飾技術—魚々子鑿の痕跡—	629
ii	接合技術—銀鑲、そして銅鑲の発見—	629
iii	古代における金・銀の精錬技術—「灰吹法」をめぐる考察—	630
E	まとめ	634
2	飛鳥池遺跡出土ガラスの科学的調査	638
A	出土ガラスの分類	638
B	アルカリガラス	638
a	高アルミナタイプのガラス	
b	中間タイプのガラス	
c	低アルミナタイプのガラス	
d	着色材料	
C	鉛ガラス	641
D	ガラス埴塼	642
E	まとめ	644
	《付表》ガラスの化学組成	645
3	飛鳥池遺跡出土遺物の鉛同位体比測定結果	647
A	はじめに	647
B	測定資料	647
C	分析方法	649
D	分析結果と検討	649
i	富本銭	649
ii	鉛	651
iii	ガラス、溶融物	651
iv	銅片	653
v	無文銀銭	653
E	まとめ	655

第Ⅵ章 考 察

- 1 富本銭の鑄造年代と銭文ならびに鑄銭技術 …………… 656
 - A 考古学と富本銭の遭遇 …………… 656
 - B 富本銭の鑄造年代 …………… 657
 - C 銭文「富本」と「七曜」 …………… 659
 - i 「富本」の字義と出典 ……659
 - ii 「七曜」の意味するもの ……661
 - D 富本銭の規格と鑄銭技術 …………… 662
 - i 富本銭の規格 …………… 662
 - ii 富本銭の鑄銭技術 …………… 663
 - a 鑄型の造型工程 ……665
 - b 地金の熔解・鑄込み工程 ……668
 - c 型ばらし・仕上げ工程 ……668
- 2 瓦からみた飛鳥池遺跡と飛鳥寺の禅院 …………… 671
 - A 飛鳥池遺跡から出土した瓦 …………… 671
 - i 軒丸瓦 ……671
 - ii 軒平瓦 ……673
 - iii 丸瓦と平瓦 ……675
 - iv 瓦窯SY1200の出土瓦 ……675
 - B 飛鳥寺東南隅の禅院はどこか …………… 676
 - i 飛鳥寺東南隅の禅院 ……676
 - ii 南門南東の禅院推定地 ……677
 - iii 寺域東南隅の禅院推定地 ……678
 - iv 平城京内禅院寺近傍での発掘調査 ……679
 - C 飛鳥寺禅院同範瓦の出土遺跡と寺跡 …………… 680
 - i 飛鳥および大和の同範瓦 ……680
 - ii 山背 ……681
 - iii 摂津 ……681
 - D 同範関係の背景についての憶測 …………… 682
 - i 奥山廃寺跡 ……682
 - ii 高田廃寺跡と横大路跡 ……684
 - iii 山背と摂津 ……686
 - iv 大和姫寺廃寺跡 ……686
 - E おわりに …………… 687
- 3 鉄滓・羽口・炉からみた鉄鍛冶工房の性格 …………… 691
 - i 飛鳥池遺跡出土鉄滓・羽口の特質 …………… 691
 - ii 鉄滓・羽口からみた飛鳥池遺跡の鉄鍛冶技術 …………… 691
 - iii 飛鳥池遺跡の鉄鍛冶炉 …………… 692
 - iv 鉄滓・羽口から見た飛鳥池遺跡と他遺跡との比較 …………… 692
 - v 飛鳥池遺跡の鉄鍛冶技術の系譜 …………… 693
 - a 大県遺跡と飛鳥池遺跡の鉄鍛冶炉 ……693
 - b 飛鳥池遺跡と大県遺跡の鍛冶工人集団 ……694

4	木簡と遺跡	698
A	木簡からみた飛鳥池工房	698
i	操業年代	698
a	飛鳥池工房に関する木簡群	698
b	木簡からみた操業年代	700
ii	生産体制	702
a	木簡に登場する製品	702
c	鉄製品を中心とした生産の流れ	706
b	木簡の廃棄主体	704
iii	工人の系譜・編成	710
a	工人の系譜	710
b	工人の編成	713
iv	飛鳥池工房の性格	718
a	「造飛鳥寺官」説をめぐって	718
b	飛鳥池工房の歴史的展開	722
B	飛鳥池遺跡北地区出土木簡と飛鳥寺	725
i	北地区出土木簡群の年代と性格	725
ii	北地区木簡群の作成・使用組織とその権限	726
a	木簡に見える僧侶名と寺院名	726
c	物品管理の諸相	729
b	文書木簡の分析から	727
iii	飛鳥寺三綱と禅院・道昭	733
a	飛鳥寺三綱	733
c	飛鳥池遺跡北地区の性格	738
b	飛鳥寺東南禅院	735
iv	北地区出土木簡からみた飛鳥寺の歴史	740

出土木簡积文（抄）……………卷 末

5 遺構の変遷…………… 本文編〔Ⅲ〕—遺跡・遺構— に収録

6 飛鳥池工房の操業内容と空間復元… 本文編〔Ⅲ〕—遺跡・遺構— に収録

第Ⅶ章 結 語…………… 本文編〔Ⅲ〕—遺跡・遺構— に収録

English Summary…………… 本文編〔Ⅲ〕—遺跡・遺構— に収録

別 冊

図版編〔Ⅰ〕…………… 遺構図面・遺構写真、木簡、瓦埴類、
土器・土製品、建築部材、石器・石製品

図版編〔Ⅱ〕…………… 生産工房関係遺物、木製品、別図（遺物分布図）

付 図…………… 1 飛鳥池遺跡遺構図
2 飛鳥池遺跡石組方形池